

(様式 3)

## 合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月日：平成 28 年 1 月

1. 対象事業	合流式下水道緊急改善事業																							
2. 実施主体名称	滝川市																							
3. 計画期間	平成 17 年度～平成 25 年度末																							
4. 対象事業の進捗状況	<input type="checkbox"/> 雨水吐室の堰嵩上げ実施 <input type="checkbox"/> スクリーン設置 <input type="checkbox"/> 部分分流化対策を実施																							
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p><b>【改善目標】</b> ①汚濁負荷量の削減 分流並みの雨天時 BOD 削減量 17,347kg (削減量 57.1%以上) ②公衆衛生上の安全確保 現況越流回数 45 回に対して回数 20 回以下まで半減 (越流回数半減以下) ③夾雑物の削減 夾雑物の流出防止対策が必要な雨水吐で対策実施 (対策実施率 100%)</p> <p><b>【目標に対する達成状況】</b></p> <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>対策前(平成 17 年度)</th><th>計画目標</th><th>対策後(平成 26 年度)</th><th>達成状況</th></tr></thead><tbody><tr><td>①汚濁負荷量の削減</td><td>雨天時 BOD 放流量 7,210 kg 削減量 0kg 削減率 0.0%</td><td>雨天時 BOD 放流量 6,986kg 削減量▲224kg 目標 3.1%</td><td>雨天時 BOD 放流量 6,986kg 224kg 削減率 3.1%</td><td>目標達成</td></tr><tr><td>②公衆衛生上の安全確保</td><td>未処理放流回数 45 回 削減率 0.0%</td><td>未処理放流回数 20 回 削減率 55.6%</td><td>未処理放流回数 20 回 削減率 55.6%</td><td>目標達成</td></tr><tr><td>③夾雑物の削減</td><td>夾雑物対策率 対策実施率 0.0%</td><td>夾雑物対策率 対策実施率 100.0% 雨水吐口対策済み</td><td>夾雑物対策率 対策実施率 100.0% 雨水吐口対策済み</td><td>目標達成</td></tr></tbody></table> <p><b>【改善期間までの目標達成の見通し】</b> 目標(汚濁負荷量の削減、公衆衛生上の安全確保、夾雑物の削減)に関する全ての対策が完了している。</p>				区分	対策前(平成 17 年度)	計画目標	対策後(平成 26 年度)	達成状況	①汚濁負荷量の削減	雨天時 BOD 放流量 7,210 kg 削減量 0kg 削減率 0.0%	雨天時 BOD 放流量 6,986kg 削減量▲224kg 目標 3.1%	雨天時 BOD 放流量 6,986kg 224kg 削減率 3.1%	目標達成	②公衆衛生上の安全確保	未処理放流回数 45 回 削減率 0.0%	未処理放流回数 20 回 削減率 55.6%	未処理放流回数 20 回 削減率 55.6%	目標達成	③夾雑物の削減	夾雑物対策率 対策実施率 0.0%	夾雑物対策率 対策実施率 100.0% 雨水吐口対策済み	夾雑物対策率 対策実施率 100.0% 雨水吐口対策済み	目標達成
区分	対策前(平成 17 年度)	計画目標	対策後(平成 26 年度)	達成状況																				
①汚濁負荷量の削減	雨天時 BOD 放流量 7,210 kg 削減量 0kg 削減率 0.0%	雨天時 BOD 放流量 6,986kg 削減量▲224kg 目標 3.1%	雨天時 BOD 放流量 6,986kg 224kg 削減率 3.1%	目標達成																				
②公衆衛生上の安全確保	未処理放流回数 45 回 削減率 0.0%	未処理放流回数 20 回 削減率 55.6%	未処理放流回数 20 回 削減率 55.6%	目標達成																				
③夾雑物の削減	夾雑物対策率 対策実施率 0.0%	夾雑物対策率 対策実施率 100.0% 雨水吐口対策済み	夾雑物対策率 対策実施率 100.0% 雨水吐口対策済み	目標達成																				
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	下水道法施行令第 6 条第 2 項等に基づく吐口からの放流水質の調査結果 雨天時モニタリング調査結果 雨天時放流水質 BOD14.9g/L																							
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 早期に目標を達成するため、計画年度当初に積極的に対策事業を推進した。</li><li>・ 設置したスクリーンは、SPRIT21 にて選定された電気で可動する装置がない装置を導入し、コスト削減を図った。</li><li>・ 部分分流化では、分流化整備の投資効果と施工の容易さから整備の進捗の速さが期待できる区域を事業の対象区域とした。</li></ul>																							
8. 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 合流式下水道緊急改善事業により計画目標達成に必要な対策はすべて実施し、雨天時モニタリング調査にて水質改善効果が把握された。今後は完全分流化を目指し改善目標である BOD 以外の合流下水に含まれる汚濁負荷の未処理放流を許容しないことで、放流先河川の水質保全に資することとし、この間は、雨天時における放流水質の調査を行い、汚濁負荷量の推移や新技術の動向に注視し、必要に応じた合流式下水道の改善に努める。</li></ul>																							